

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

| | | | | | |
|----------------|---|--------|----|---------------|------|
| 整理番号 | 38 | 実施計画番号 | 78 | | |
| 事務事業名 | 老人クラブ活動支援 | | | 事業開始年度 | |
| 担当課名 | 高齢介護課 | | | 事務の種類(選択) | 自治事務 |
| 根拠法令等 | 厚生労働省老健局通知(H13.10.1老発第390号) | 関連事務事業 | | | |
| 背景や経緯等 | 全国的に高齢化が進み、介護給付費の増大が問題視されている中、介護を受ける期間を少しでも短く、健康に長生きする「健康寿命」を伸ばすことが重要となっている。そのためには、高齢者が主体となってとりくむ介護予防や、住み慣れた地域で生きがいを持って自立して生活していくことに対する支援が重要である。 | | | | |
| 事務事業の目的 | 高齢者が地域で生きがいを持って暮らしていくために、高齢者の積極的な社会参加を促進し、自立した生活ができるようにすることを目的とする。 | | | | |
| 実施状況 | 高齢者の生きがいづくりの活動拠点を老人福祉センターとし、活動の効率化を図るため、その運営について老人クラブ連合会に指定管理者として委託している。また老人クラブの活動の活性化を図るために、健康増進事業や教養講座・社会奉仕活動等の事業への支援を行うとともに、老人福祉バスの運行により、高齢者の活発な活動を支援する。 | | | | |

【人件費の推移】

| | | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度計画 |
|------------|---------|--------|--------|--------|
| 正職員 | 従事者数(人) | 1 | 1 | 1 |
| | 活動日数(日) | 24 | 24 | 24 |
| | 人件費(千円) | 864 | 864 | 864 |
| 正職員以外(選択↓) | 従事者数(人) | | | |
| | 活動日数(日) | | | |
| | 人件費(千円) | | | |

【事業費の推移】

| 事業費合計(千円) | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度計画 |
|-----------|--------|--------|--------|
| | 19,588 | 19,661 | 18,234 |
| うち一般財源 | 16,038 | 16,140 | 14,684 |
| うち国県支出金 | 3,550 | 3,521 | 3,550 |
| うち地方債 | | | |
| うちその他 | | | |

【指標】

| | | | | | | |
|------|--------|--------|-----------------|--------|--------|--------|
| 活動指標 | 活動指標名① | | 老人クラブ会員数 | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度計画 |
| | | | 人 | 2,100 | 2,031 | 2,100 |
| | 活動指標名② | | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度計画 |
| | | | | | | |
| 成果指標 | 成果指標名① | | 老人福祉バス延べ利用者数 | | | |
| | 計算式等 | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
| | | 人 | 目標値 | 4,500 | 4,500 | 4,500 |
| | | | 実績値 | 4,294 | 4,444 | |
| | | | 達成度(%) | 95% | 99% | |
| | 成果指標名② | | 老人福祉センター年間延べ利用者 | | | |
| | 計算式等 | 単位 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | |
| | | 人 | 目標値 | 6,000 | 6,000 | 6,000 |
| | | | 実績値 | 5,904 | 5,673 | |
| | | 達成度(%) | 98% | 95% | | |

十和田市事務事業評価シート

| | |
|------|----|
| 整理No | 38 |
| 計画No | 78 |

【担当課による検証】

| ポイント | | 検証(選択) | 評価 | 点数 | 合計 | 検証の理由 | | |
|------|--|--|----|----|-------|--|-------|--------|
| 妥当性 | ① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか | A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている | B | 1 | 3 | 存在意義の見直しの余地 1 / 4 老人クラブ員の高齢化や新規加入者の減少により、老人クラブ主催の各事業の参加者数は減少傾向にある。しかし高齢者が介護を必要としない状態で住み慣れた地域で生活するためには、重要な社会資源である。 | | |
| | ② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか) | A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない | A | 2 | | | | |
| 有効性 | ③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | B | 1 | 4 | 成果向上の余地 2 / 6 老人クラブ員の減少傾向は年々進んできている。しかし老人クラブの活動を通し、互助・共助の意識を高めて、地域の中でお互いに助け合える風土を作り上げていく必要からも、今後活動への柔軟な対応や、生きがいづくりにつながる様な活動の展開が必要である。 | | |
| | ④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | A | 2 | | | | |
| | ⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | B | 1 | | | | |
| 効率性 | ⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | A | 2 | 6 | コスト削減の余地 0 / 6 老人クラブ連合会や単位老人クラブは、主体的に計画立案・運営を行い活動をしている。また、10月末までの老人福祉センターの管理運営は、指定管理者制度により、委託先の老人クラブ連合会が適正に運営を行っている。 | | |
| | ⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | A | 2 | | | | |
| | ⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | ★ | 2 | | | | |
| 公平性 | ⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか | A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている | A | 2 | 4 | 受益者負担適正化の余地 0 / 4 老人クラブの意義や参加を促進できるように、広報や連合会会報などを活用して広く市民に呼び掛けている。 | | |
| | ⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | A | 2 | | | | |
| | | | | | 現在の適性 | 17 / 20 | 改善の余地 | 3 / 20 |

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **17** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **3** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ⇒ **現状のまま継続**

| | |
|------------------|--|
| 方向性の理由 | 老人クラブの活動は、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていくための社会参加の促進と、介護予防による、健康寿命の延伸のためにもとても重要な活動であると考えているため、今後も継続して支援していくことが必要である。 |
| 今後の具体的な取組方策と狙う効果 | 新規会員加入促進のため、老人クラブ連合会事務局や単位老人クラブとも高齢介護課が連携・協議し、魅力ある老人クラブの活動にむけて検討・周知していくことが必要である。 |